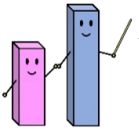


3. グラフで見る佐世保市



こんにちは！ 棒^{ぼう}グラちゃんです！

今日は、「統計^{とうけい}」のデータ^{つか}を使って「佐世保市^{させほし}」の姿^{すがた}を見ていきたくておもいます。

佐世保市^{させほし}は、長崎県^{ながさきけん}で何番目^{なんばんめ}に人口^{じんこう}が多い^{おお}のか。
また、どのくらい増えたり減^へったりしているのか。

どのくらいの雨^{あめ}が降^ふっているのか。

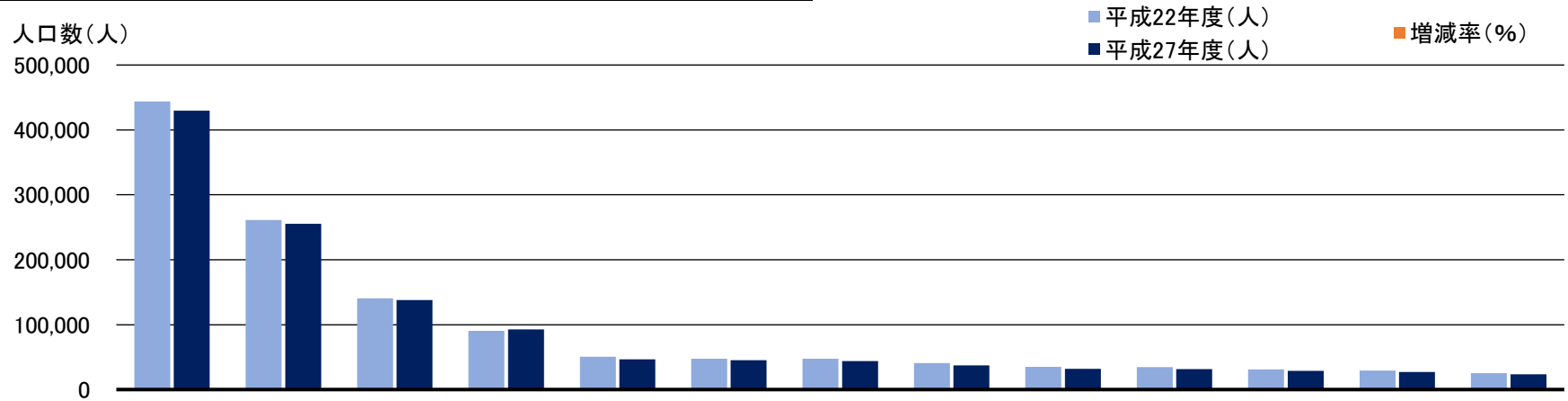
ごみはどのくらい捨^すてられているのか。

など、気^きになるデータ^{データ}をグラフ^{グラフ}にしてみましたので、ご紹介^{しょうかい}します。

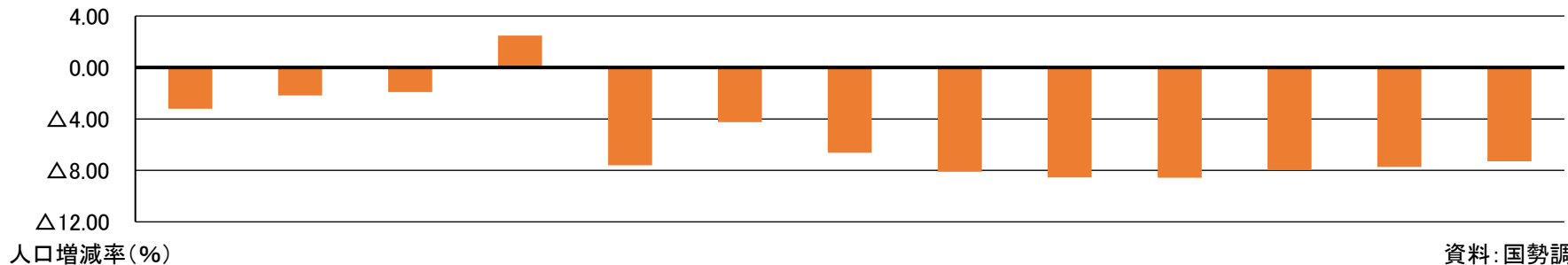
【目次^{もくじ}】

- | | |
|---|-------|
| 01_平成 ^{へいせい} 22年 ^{ねん} 及び平成 ^{へいせい} 27年 ^{ねん} の人口 ^{じんこう} （長崎県 ^{ながさきけん} 内 ^{ない} 各市 ^{かくし} ） | 2ページ |
| 02_平成 ^{へいせい} 22年 ^{ねん} 及び平成 ^{へいせい} 27年 ^{ねん} の世帯数 ^{せたいすう} （長崎県 ^{ながさきけん} 内 ^{ない} 各市 ^{かくし} ） | 3ページ |
| 03_人口 ^{じんこう} および世帯数 ^{せたいすう} の推移 ^{すい} （佐世保市 ^{させほし} ） | 4ページ |
| 04_平成 ^{へいせい} 27年 ^{ねん} の降水量 ^{こうすいりょう} と平均 ^{へいきん} 気温 ^{きおん} （佐世保市 ^{させほし} ） | 5ページ |
| 05_県内 ^{けんない} 転入 ^{てんにゅう} 出人口 ^{しゅつじんこう} （佐世保市 ^{させほし} ） | 6ページ |
| 06_九州内 ^{きゅうしゅう} 転入 ^{てんにゅう} 出人口 ^{しゅつじんこう} （佐世保市 ^{させほし} ） | 7ページ |
| 07_国内 ^{こくない} 転入 ^{てんにゅう} 出人口 ^{しゅつじんこう} （佐世保市 ^{させほし} ） | 7ページ |
| 08_一般 ^{いっぱん} 世帯 ^{せたい} の家族 ^{かぞく} の種類 ^{しゅるい} ごとの割合 ^{わりあい} （佐世保市 ^{させほし} ） | 8ページ |
| 09_ごみの搬入量 ^{はんにゅうりょう} （佐世保市 ^{させほし} ） | 9ページ |
| 10_年齢 ^{ねんれい} 別 ^{べつ} 人口 ^{じんこう} 割合 ^{わりあい} （佐世保市 ^{させほし} ） | 10ページ |

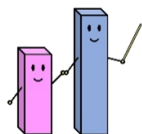
01_平成22年及び平成27年の人口:長崎県内各市



平成22年度(人)	443,766	261,101	140,752	90,517	50,363	47,455	47,245	40,622	34,905	34,407	31,176	29,377	25,145
平成27年度(人)	429,508	255,439	138,078	92,757	46,535	45,436	44,115	37,327	31,920	31,457	28,691	27,103	23,309
増減数(人)	△14,258	△5,662	△2,674	2,240	△3,828	△2,019	△3,130	△3,295	△2,985	△2,950	△2,485	△2,274	△1,836
	長崎市	佐世保市	諫早市	大村市	南島原市	島原市	雲仙市	五島市	平戸市	対馬氏	西海市	壱岐市	松浦市
増減率(%)	△3.21	△2.17	△1.90	2.47	△7.60	△4.25	△6.63	△8.11	△8.55	△8.57	△7.97	△7.74	△7.30

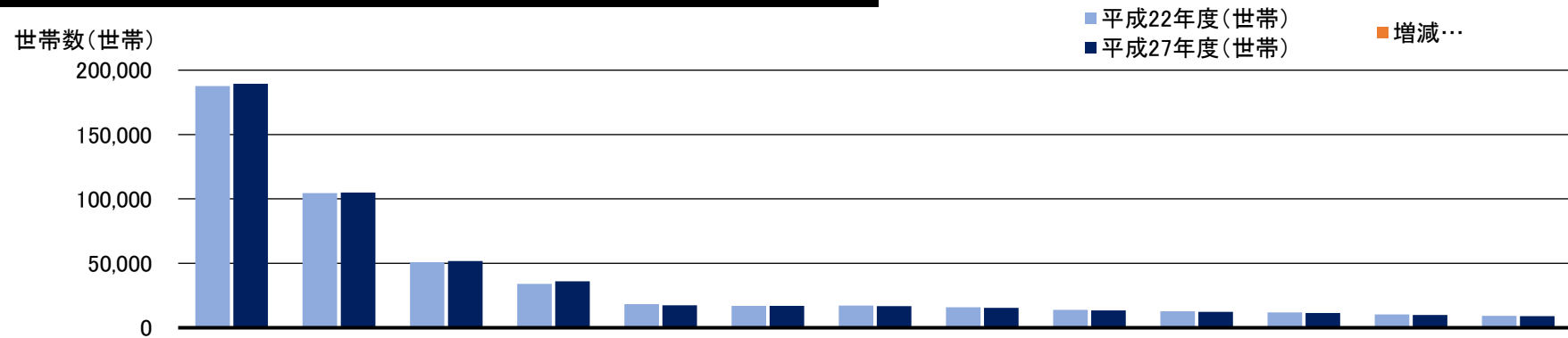


資料: 国勢調査



佐世保市は、長崎県内で2番目に人口が多い市です。
 しかし、平成22年度に比べ、平成27年度は人口は5,662人も減少しています。
 減少した人口数も県内で2番目に多いですが、増減率(人口総数に対する割合)で見ると、人口が増えた大村市や、諫早市に次いで、3番目に小さい率となっています。
 長崎県内の他の市と比べると、人口の減り方はそこまで進んでいない、ということがわかります。

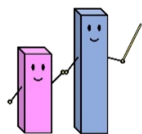
02_平成22年及び平成27年の世帯数:長崎県内各市



平成22年度(世帯)	187,685	104,583	50,989	34,044	18,382	17,039	17,160	15,863	13,813	12,885	11,875	10,401	9,214
平成27年度(世帯)	189,419	105,011	51,897	36,070	17,425	17,068	16,664	15,376	13,393	12,421	11,494	10,002	8,994
増減数(世帯)	1,734	428	908	2,026	△957	29	△496	△487	△420	△464	△381	△399	△220
	長崎市	佐世保市	諫早市	大村市	南島原市	島原市	雲仙市	五島市	平戸市	対馬氏	西海市	壱岐市	松浦市
増減率(%)	0.92	0.41	1.78	5.95	△5.21	0.17	△2.89	△3.07	△3.04	△3.60	△3.21	△3.84	△2.39



資料: 国勢調査

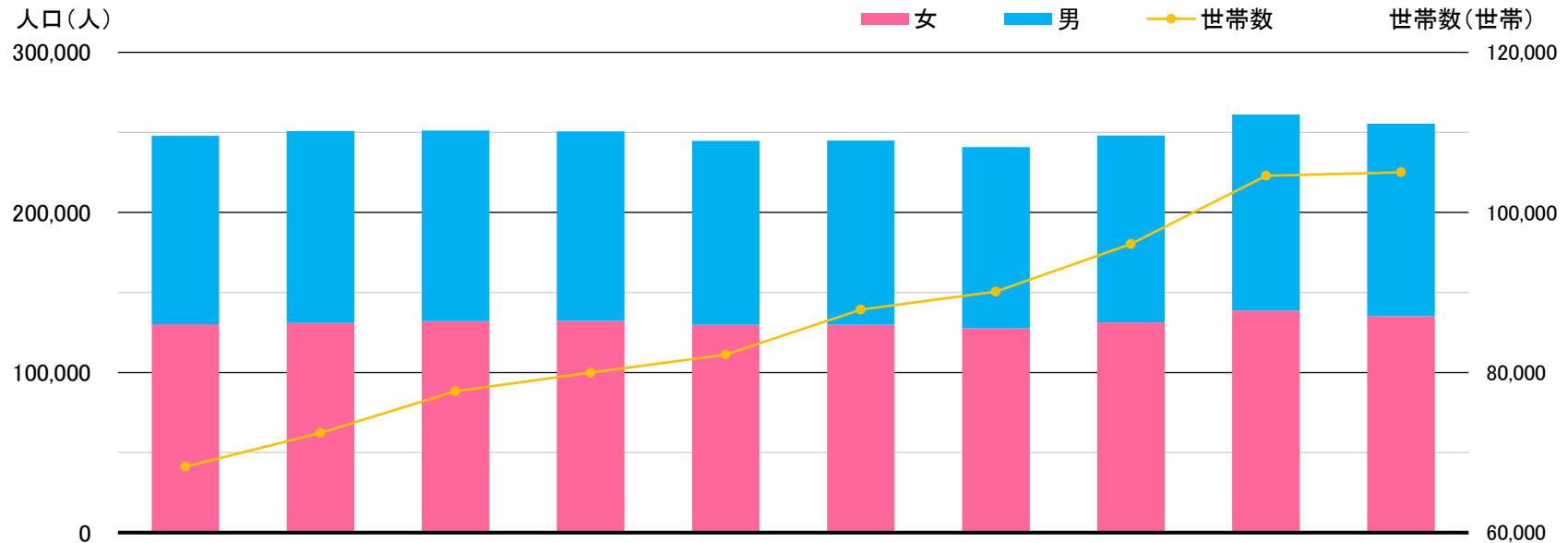


佐世保市の世帯数は、人口と同じく長崎県内で2番目に多いです。

しかし、佐世保市や他市においても、人口が減っているのに世帯数が増えている市があり、世帯数は、必ずしも人口の増減とは比例しない、ということがわかります。

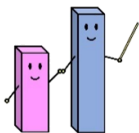
理由はさまざまですが、例えば、世帯分離（同じ家族の中で、祖父母の夫婦を別の世帯とすることなど）などの理由が考えられます。

03_人口及び世帯数の推移:佐世保市



	昭和45年	昭和50年	昭和55年	昭和60年	平成 2年	平成 7年	平成12年	平成17年	平成22年	平成27年
人口総数(人)	247,898	250,729	251,187	250,633	244,677	244,909	240,838	248,041	261,101	255,439
男(人)	117,697	119,820	119,059	118,358	114,788	114,987	113,153	116,726	122,430	120,198
女(人)	130,201	130,909	132,128	132,275	129,889	129,922	127,685	131,315	138,671	135,241
世帯数(世帯)	68,232	72,466	77,676	79,972	82,224	87,860	90,105	96,048	104,583	105,011

資料:国勢調査

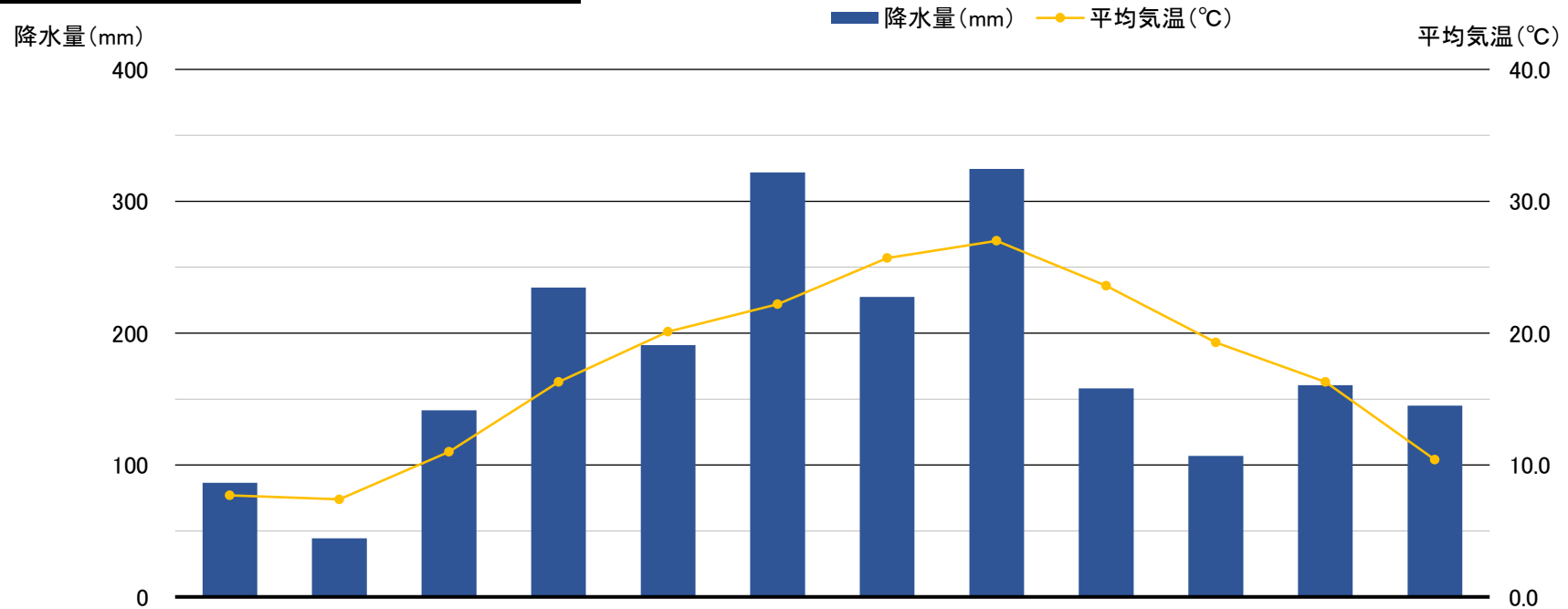


佐世保市の人口は、過去50年で増えたり減ったりしています。

これは、年々人口が減っているものの、市町村合併（平成17年に吉井町、世知原町と、平成18年に宇久町、小佐々町と、平成22年に江迎町、鹿町町と合併しています）により、人口が加算されたことによるものと考えられます。

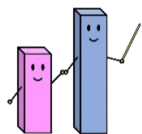
一方、世帯数は、継続して増え続けています。

04_降水量と平均気温:佐世保市



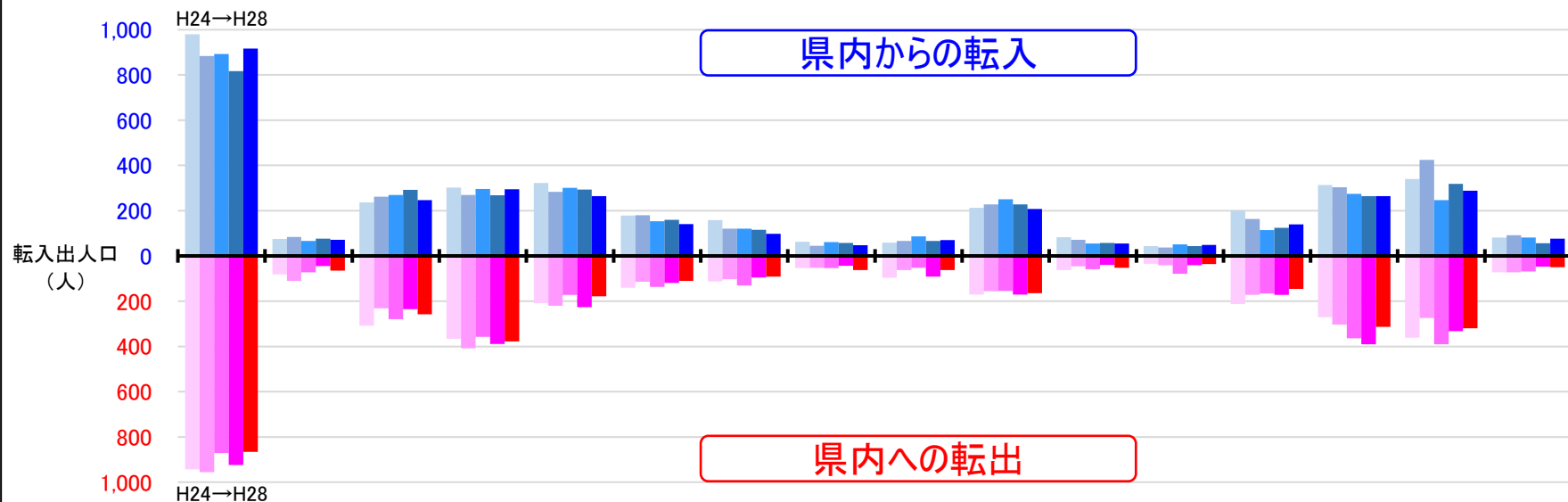
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
降水量(mm)	86.5	44.5	141.5	234.5	191.0	322.0	227.5	324.5	158.0	107.0	160.5	145.0
平均気温(°C)	7.7	7.4	11.0	16.3	20.1	22.2	25.7	27.0	23.6	19.3	16.3	10.4

資料:気象庁



佐世保市の平成27年の降水量は、夏場が多く、冬場が少ないです。
 梅雨時期の6月よりも、8月のほうが降水量が少し多くなっていますが、これは近年多く
 ゲリラ豪雨や、台風などの影響によるものと考えられます。
 月ごとの晴天や雨天の日数などと比較をすると、もっと詳しく見えてくるかもしれませんね。

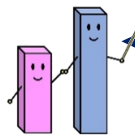
05_県内転入人口:佐世保市



県内転入(人)	長崎市	島原市	諫早市	大村市	平戸市	松浦市	対馬市	壱岐市	五島市	西海市	雲仙市	南島原市	西彼杵郡	東彼杵郡	北松浦郡	南松浦郡
平成24年	980	75	236	302	322	179	158	63	59	212	83	44	200	314	340	82
平成25年	884	84	262	270	283	180	120	45	66	228	71	37	163	303	424	92
平成26年	893	66	269	296	301	153	121	61	87	251	55	51	114	275	247	82
平成27年	817	76	292	268	294	160	115	57	66	228	58	44	124	264	319	56
平成28年	917	71	247	295	264	141	98	47	70	208	55	48	140	264	288	77

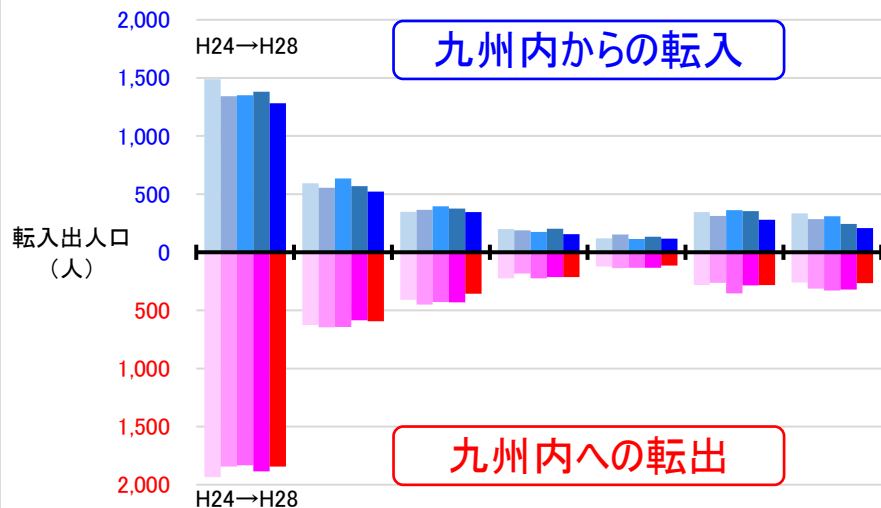
県内転出(人)	長崎市	島原市	諫早市	大村市	平戸市	松浦市	対馬市	壱岐市	五島市	西海市	雲仙市	南島原市	西彼杵郡	東彼杵郡	北松浦郡	南松浦郡
平成24年	943	81	309	367	209	141	113	54	96	171	62	35	212	271	362	72
平成25年	955	110	232	408	220	114	103	52	62	156	46	41	172	303	274	73
平成26年	871	72	279	357	172	137	131	54	52	154	58	79	166	364	390	69
平成27年	924	45	235	389	226	119	95	44	92	171	40	41	172	390	332	47
平成28年	866	65	258	378	179	110	92	62	63	164	52	36	146	313	320	50

資料:佐世保市 政策経営課



県内の各市町から佐世保市へ転入した人数 また、佐世保市から県内の各市町へ転出した人数です。
 長崎県の主要都市である長崎市の転入出が多く、壱岐市、対馬市、五島市などの島では転入出が少なくなっています。
 青いグラフ(転入)が伸びれば、佐世保市の人口も増えていくのですが…。

06_九州内転入出人口:佐世保市

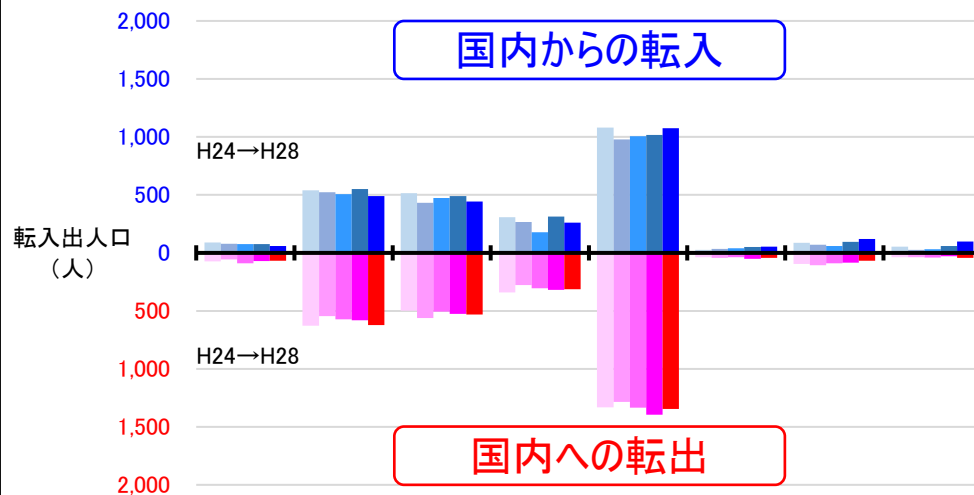


九州内転入(人)	福岡	佐賀	熊本	大分	宮崎	鹿児島	沖縄
平成24年	1,490	594	349	200	119	346	334
平成25年	1,342	556	365	188	152	313	284
平成26年	1,351	635	395	175	113	361	310
平成27年	1,381	570	377	203	133	354	244
平成28年	1,282	523	345	156	117	279	209

九州内転出(人)	福岡	佐賀	熊本	大分	宮崎	鹿児島	沖縄
平成24年	1,934	627	408	224	123	283	259
平成25年	1,845	647	449	183	137	264	312
平成26年	1,833	642	427	224	133	353	330
平成27年	1,886	586	430	213	134	284	320
平成28年	1,845	594	356	213	113	283	266

資料:佐世保市 政策経営課

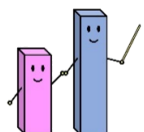
07_国内転入出人口:佐世保市



国内転入(人)	四国	中国	近畿	中部	関東	北陸	東北	北海道
平成24年	89	539	516	309	1,081	25	88	55
平成25年	78	524	433	267	979	35	71	25
平成26年	77	507	472	178	1,005	40	59	31
平成27年	76	551	489	312	1,016	51	96	58
平成28年	60	489	443	261	1,074	55	121	98

国内転出(人)	四国	中国	近畿	中部	関東	北陸	東北	北海道
平成24年	74	629	498	341	1,331	36	95	37
平成25年	57	544	562	278	1,286	42	105	38
平成26年	91	572	506	304	1,334	36	90	40
平成27年	70	581	525	319	1,394	52	83	30
平成28年	69	622	532	313	1,345	43	69	43

資料:佐世保市 政策経営課



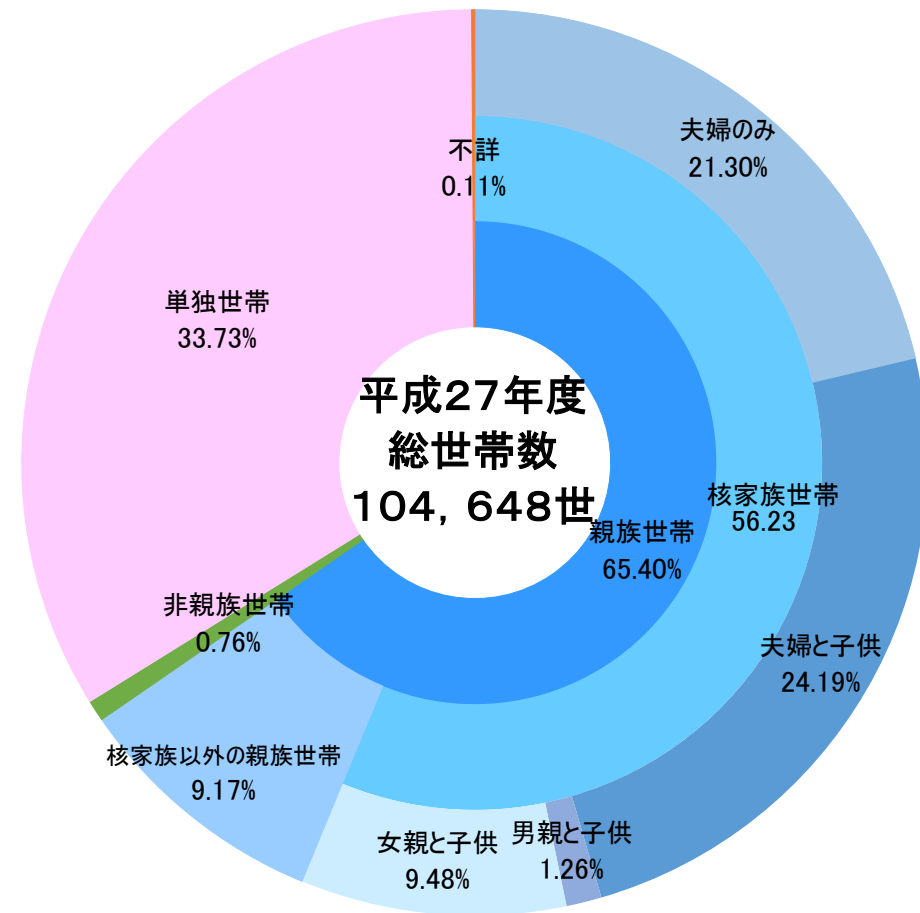
九州内、国内の各県、各地方から佐世保市へ転入した人数 また、佐世保市から九州内、国内の各県、各地方へ転出した人数です。

九州内では、やはり福岡県の転出入がとびぬけて多く、その次はお隣の佐賀県が多いですね。

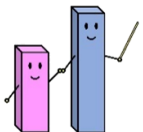
全国では、東京都がある関東地方の転入出が多くなっています。転出が多い県や地方が、転入も多いようです。

08_一般世帯の家族の種類ごとの割合(平成27年):佐世保市

			世帯数(%)		
親 族 世 帯	核 家 族 世 帯	夫婦のみ	65.40	56.23	21.30
		夫婦と子供			24.19
		男親と子供			1.26
		女親と子供			9.48
	核家族以外の親族世帯		9.17	9.17	
非親族世帯			0.76	0.76	0.76
単独世帯			33.73	33.73	33.73
不詳			0.11	0.11	0.11
総数			100.00	100.00	100.00



資料: 国勢調査

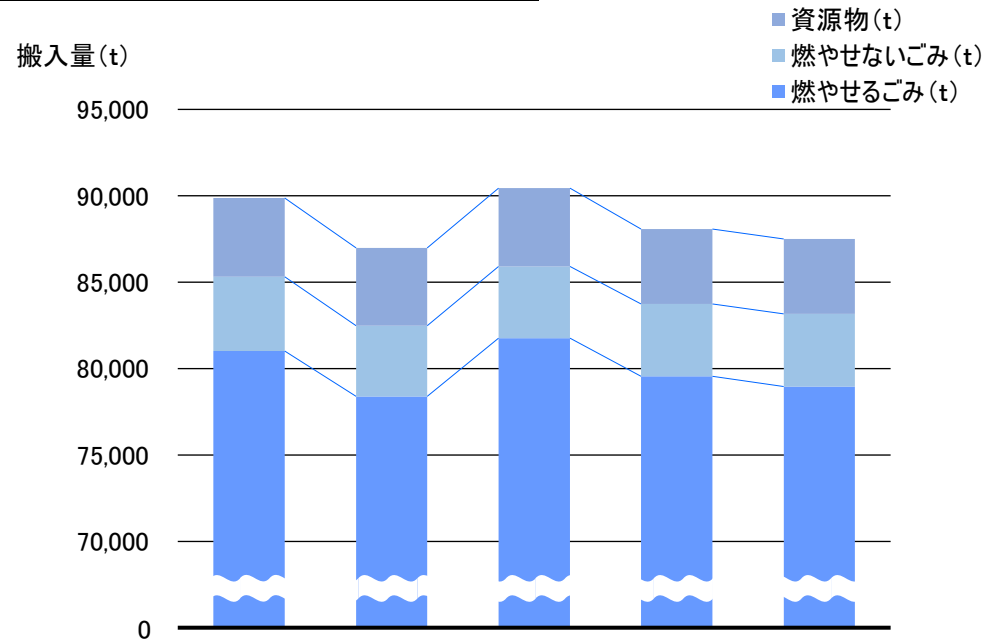


佐世保市における家族の種類を円グラフで表しています。

単独世帯が33.73%と、全体のおよそ三割を占めています。

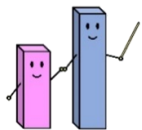
また、核家族の世帯は56.23%と、核家族以外の世帯9.17%のおよそ六倍となっています。

09_ごみの搬入量:佐世保市



	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
燃やせるごみ(t)	81,024	78,389	81,759	79,553	78,965
燃やせないごみ(t)	4,288	4,089	4,151	4,195	4,200
資源物(t)	4,554	4,504	4,531	4,322	4,332

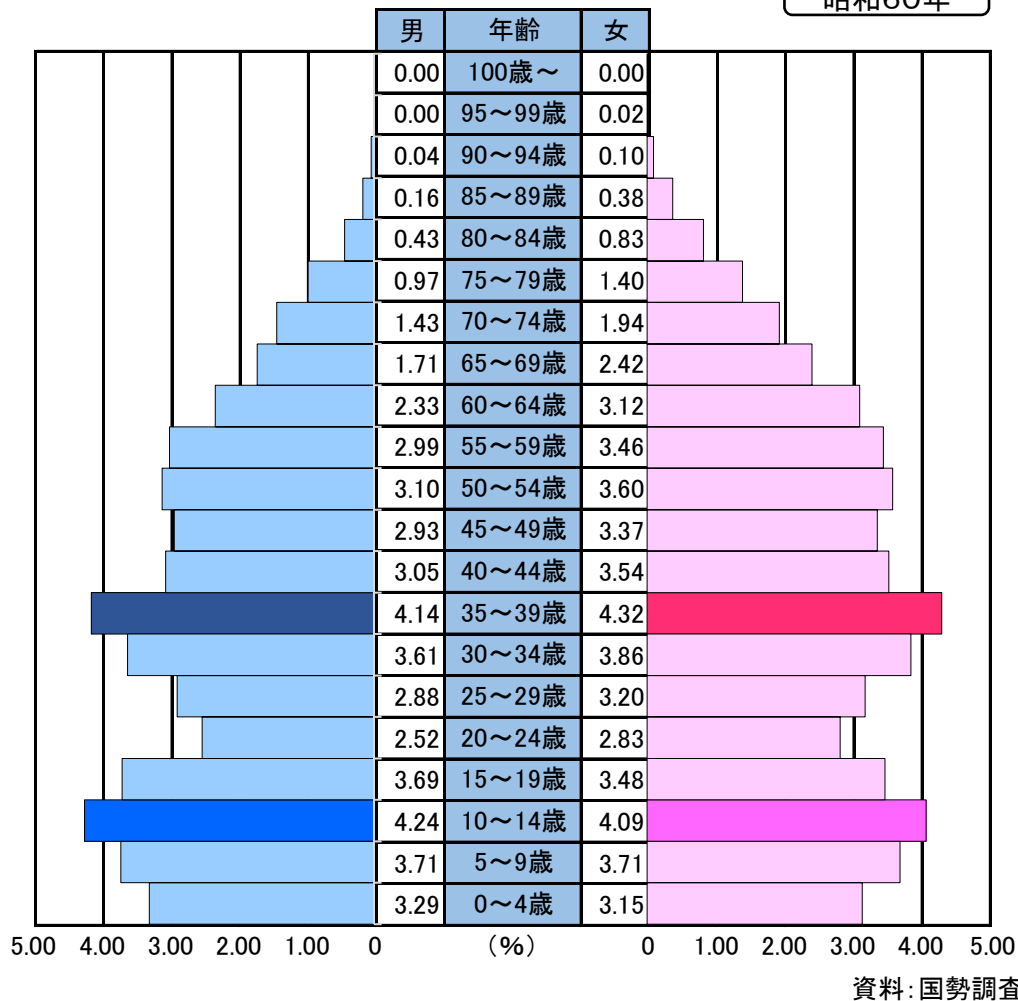
資料:佐世保市 環境政策課



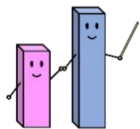
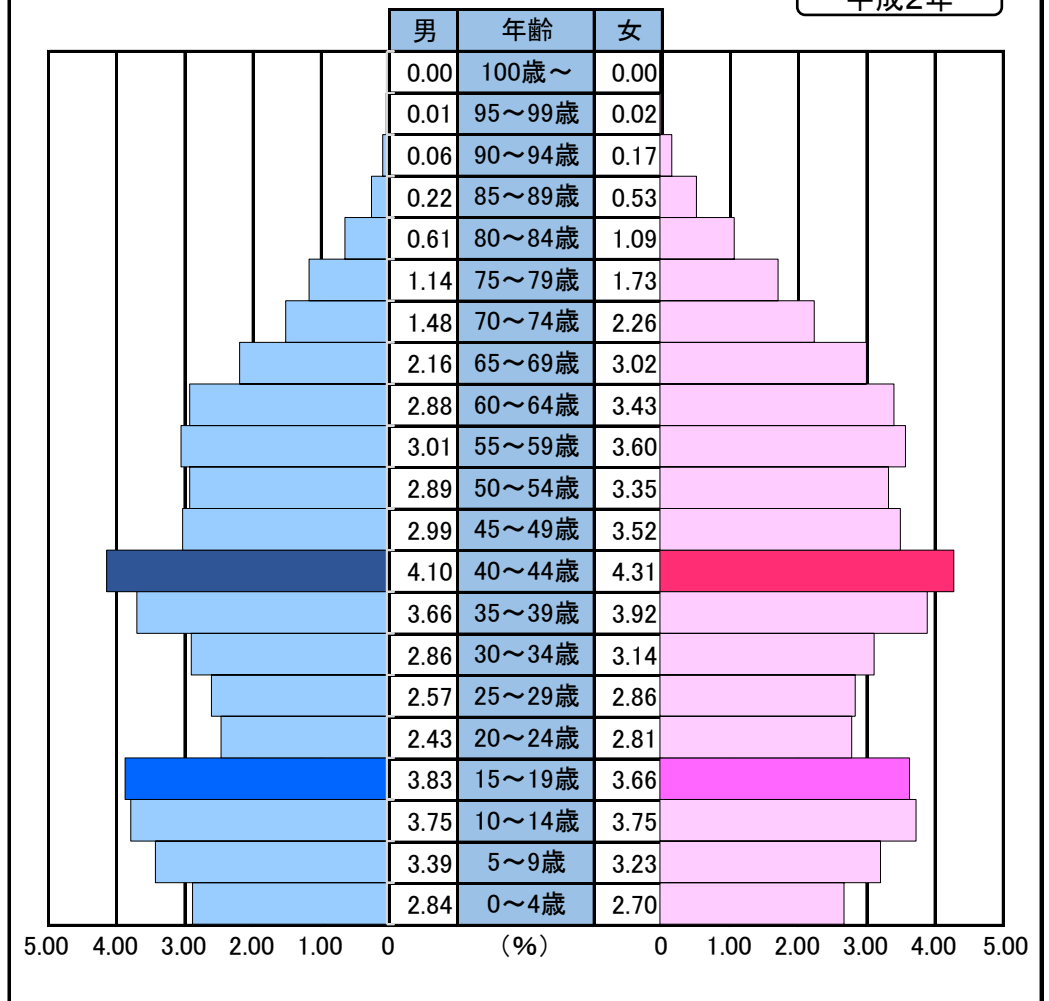
佐世保市のごみの搬入量は、だんだんと減り続けています。
 種類ごとにみると、資源物や燃やせないごみの量に大きな変化はありませんが、
 燃やせるごみの量が年々減ってきていることがわかります。
 みなさんも、資源物などの分別化により、ごみの減量に取り組みましょう。

10_年齢別人口割合:佐世保市

昭和60年



平成2年



佐世保市における年齢別の人口割合をグラフにしたものです。

昭和60年のものと見ると、高齢（上）に行くほど少なく、若年齢（下）に行くほど多くなっているため、グラフが山の形に見えることから、このグラフは「人口ピラミッド」と呼ばれています。

しかし、近年では少子高齢化が進み、若年齢の人口が少なくなっているため、グラフの形もツボのような形へと変わってきています。

